

目次

目次	1
安全上のご注意	2
使用上のご注意	8
はじめに	10
製品の特徴	10
パッケージ内容	11
製品の概要	12
メインユニット	12
コントロールパネル	13
接続ポート	14
リモコン(レーザーポインタ付き)	15
インストール	16
プロジェクタを接続するには	16
プロジェクタの電源オン/オフ	17
プロジェクタの電源をオンにする	17
プロジェクタの電源をオフにする	18
警告インジケータ	18
投影された映像の調整	19
プロジェクタの高さを調整する	19
プロジェクタのズーム/フォーカスを調整する	20
画面サイズと投射距離の目安	20
ユーザーコントロール	21
コントロールパネル& リモートコントロール	21
オンスクリーン・ディスプレイメニュー	23
操作方法	23
個人(コンピュータ/ビデオモード)	24
言語	25
カラー(コンピュータ/ビデオモード)	26
イメージ(コンピュータモード)	28
イメージ(ビデオモード)	29
オーディオ(コンピュータ/ビデオモード)	30
管理(コンピュータ/ビデオモード)	31
付録	33
トラブルシューティング	33
ランプの交換	37
仕様	38
互換モード	39
天井マウントの取り付け	40

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

正しくお使いいただくことでお使いになる方への危害および、財産への損害を未然に防ぐことができます。安全のために以下の警告事項、注意事項をお守りいただき、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

「安全上のご注意」の絵表示

 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
--	---

絵記号の意味



この記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。記号の中や近くに注意内容が示されています。

例)  「感電注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為(やってはいけないこと)を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例)  「分解禁止」を表す絵表示



この記号は必ず行っていきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例)  「電源プラグを抜く」を表す絵表示

安全上のご注意

注意

 禁止	本製品は以下のようなところ（環境）で使用および保管をしないでください。 故障の原因となることがあります。 ● 湿気が多いところやホコリが多いところ ● 直射日光があたる場所 ● 温湿度差の激しい場所 ● 水気が多いところ（台所、浴室、水辺、海岸など） ● 腐食性ガス、油煙の中 ● 静電気の影響が強い場所 ● 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーター、コンロなど） ● 強い磁力電波の影響を受けるところ（磁石、ディスプレイ、スピーカなどの近く） ● 振動や衝撃の加わる場所や傾いた場所 ● 保温性・保湿度の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど）場所での使用（保管時は問題ありません）
 禁止	本製品は精密部品により構成されています。以下のことにご注意ください。 ● 落としたり、衝撃を加えない ● 本製品の上に飲み物などの液体や、クリップなどの小部品を置かない ● 重いものを上にのせない ● 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない
 厳守	ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがをしたり、接続機器の故障の原因になります。また、ケーブルの上に重いものを載せないでください。じゅうたんの下に配線したときは気づかず重いものを載せてしまいがちですので十分注意してください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が溶けたり、破れたりし、接触不良などの原因になります。
 厳守	ほかの電子機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼし電波傷害をひきおこすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、音声が乱れたり、画像が乱れたりする場合があります。その場合は次のようにしてください。 ● テレビやラジオなどからできるだけ離してください。 ● テレビやラジオのアンテナの向きを変えてください。 ● コンセントを別に分けてしてください。

安全上のご注意

 厳 守	長時間に渡って映像をみるばあいは一定の間隔で休憩をとってください。また部屋を真っ暗にすると目に疲労が蓄積されますので部屋を適度に明るくご覧ください。
 禁 止	排気ファン動作中は電源ケーブルを抜かないでください。冷却ファンの回転音が止まり、主電源をオフにしてから電源ケーブルを抜いてください。
 禁 止	ランプモジュールのお取り扱い時は、手袋などをして素手ではさわらないようにしてください。ランプモジュールのプラスチック部分以外は、絶対にさわらないでください。破損する恐れがあります。
 厳 守	ご使用直後はランプモジュール部分は大変高温になっています。絶対に触れないでください。ランプモジュールの交換はご使用後1時間程度放置し、余熱が完全に取れてから行ってください。やけどの恐れがあります。
 厳 守	ランプモジュールを落とさないようご注意ください。ガラスが散り、けがをする恐れがあります。
 禁 止	指定の電池(単4型乾電池)以外は使用しないでください。指定以外の電池を使用した場合、故障の原因となります。
 厳 守	電池を使い終ったときや、長時間使用しない時は取り出してください。電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けが、故障などの原因となります。
 厳 守	取り付け時には、極性に十分注意して取り付けてください。(電池には＋極と－極があります。)故障の原因となります。
 注 意	本製品を使用中にデータなどが紛失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

安全上のご注意

警告

 厳守	煙がでている、へんなにおいがする、へんな音がするなどの異常が発生したときはすぐに使用を中止してください。万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。
 水濡れ禁止	本製品を濡らさないでください。水気の多い場所で使用しないでください。 お風呂場、台所、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。
 厳守	本製品を設置するときは、他の機器、壁などから適当な間隔をとってください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。目安として10cm以上の空間を空けてください。
 禁止	本製品は紙、布などの柔らかいものや軽いものの上に設置しないでください。通気孔(レンズに向かって右側面と、背面)に吸いついて内部の温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
 禁止	本製品を使用するときは近くに燃えやすいものを置かないでください。 火災の原因となることがあります。
 厳守	温度差のある場所への移動するとき、表面や内部が結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用するところで電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。
 分解禁止	改造・分解はしないでください。お客様により修理は行なわないでください。 火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
 禁止	本製品内部へ異物を入れないでください。金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。特に通風孔には異物はいらないよう注意してください。
 禁止	使用中はレンズをのぞかないでください。 レンズからは非常に強い光が発せられていて、目を痛める原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

安全上のご注意

 禁 止	リモコンのレーザー 光を目にあてたり、人の 目にあてたりしないでください。 目を 痛める 原因となりますので、絶対にのぞき 込まないでください。 本リモートコントロールにはクラスIIレーザーが 装備されています。
 禁 止	本製品は下記のようなところで使用しないでください。 故障の原因になったり、思わぬ事故のもとになります。 ● ほこりの 多いところ ● 振動や衝撃の 加わる場所 ● 不安定なところ ● 通気孔(レンズに向かって右側面と、背面)がふさがるところ ● 温度差の 激しいところ ● 水分や湿気の 多いところ ● 温度が 高いところ
 禁 止	使用中や使用後は排気孔(レンズのある 面)およびその回り、設置台が熱くなります。 やけどの原因になりますので、触らないでください。
 厳 守	ランプモジュールを 交換するときは、必ず 電源ケーブルをコンセントから 抜いて 行なってください。感電の原因となります。
 禁 止	ケーブルは付属のものを 使用し、次のことに 注意して 取り扱ってください。取り扱いを 誤ると、ケーブルが 傷み、火災や感電の原因になります。 ● 引っ張ったり、折り曲げたりしない ● 圧力を かけたり、押しつけない、ものをのせない ● 加工しない ● 熱器具のそばで 使わない
 禁 止	ぶつけたり、落としたりして 衝撃を与えないでください。そのまま 使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
 厳 守	電源プラグはほこりが 付着していないことを 確認して 使用してください。接触不良で 火災の原因になります。電源プラグは 根本まで しっかりさしてください。根本まで さしてもゆるみがある 場合は 接続しないでください。販売店や電気工事店に 依頼し、コンセントを 交換してください。電源コンセントはたこ 足配線、テーブルタップやコンピューターなどの裏側の補助電源への 接続をしないでください。

安全上のご注意

 厳 守	電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行なってください。電源コードを引っ張るとケーブルが傷み、火災の原因になります。電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手で行なわないで下さい。濡れた手で言うと感電の原因になります。
 禁 止	電池の液が漏れたときは、液に触れないでください。 ● 電池の液が目にはいたり、体や皮膚につくと失明やけが、炎症の原因となります。液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。 ● 液が体や衣服についたときすぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがが症状があるときは、医師に相談してください。
 厳 守	電池は小さな子どもの手の届かない場所に置いてください。電池は飲み込むと、窒息したり、胃などに障害をおこしたりする原因になります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。
 禁 止	(+) (－) を金属類で短絡させないでください。液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。
 厳 守	電池から液が漏れたら、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液やそこから発生する気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。
 禁 止	電池を火の中に入れて、加熱・分解・改造・充電しないでください。また、水で濡さないでください。液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。
 厳 守  注 意  発 火 注 意	電源ケーブルを取り扱うときは以下のご注意ください。 ● 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。ケーブルを加工しないでください。 ● 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷み、火災・感電・故障の原因となります。 ● 濡れた手で電源ケーブルのプラグをコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因となります。電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手で本体に触らないで下さい。感電の原因となります。 ● 電源ケーブルのプラグは根本までしっかり差し込んでください。ほこりが付着していないことを確認してからおこなってください。接触不良で火災の原因となります。
 厳 守	本製品を使用する際は、接続するパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

使用上のご注意

設置場所について

本プロジェクターは200 wのランプを使用しており、内部が大変熱くなります。以下の設置場所をお守りください。

- 風通しの良いところに設置してください。内部に熱がこもらぬ様、充分注意し、通風孔(レンズに向かって右側面と背面)をふさぐことなく、充分な空気循環ができるようにしてください。
- 高音になる場所には設置しないでください。直射日光にあたる場所や、熱器具(ストーブ、ヒーター、ホットカーペットなど)の近くに設置しないでください。
- 屋内で使用してください。屋外で使用することを前提に設計されてません。故障の原因になります。
- 設置場所の強度が充分あるところに設置してください。高い場所への設置時は、ぶつかったり、落下したりしないことを十分に注意し、安全に設置してください。
- 油煙や腐食性のガスのあるところには設置しないでください。
- 振動や連続的な衝撃の加わるようなところには設置しないでください。

見る場所について

- 画面との距離を適度にとってご覧ください。
- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度な明るさの中でご覧ください。長時間見るときは適度に休憩をしてください。

お手入れについて

- レンズや本体が汚れたときは乾いた柔らかくきれいな布等で軽く拭いてください。汚れがひどいときは柔らかくきれいな布に水または中性洗剤を含ませて良く絞ってから軽く拭いてください。
- 水滴などがレンズについた場合はすぐに乾いた柔らかくきれいな布等で拭いてください。そのまま使用すると、表示面が変色したり、シミになったりする原因となります。また、水分がつくと故障の原因となります。
- 清掃を行なうときは、かならず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

廃棄について

廃棄するときは、地方自治体が定める条例にしたがってください。

使用上のご注意

ランプの寿命について

- 本製品で使用しているランプモジュールには寿命があります。標準約2,000時間になります。交換時期になると警告メッセージが画面内に表示されます。ランプ交換のページの方法に従い、ランプモジュールを交換してください。
- ランプは消耗品扱いです。
- ランプモジュールの寿命はあくまで目安として提示されるもので、この限りではない場合があります。あらかじめご了承ください。

その他注意事項

- 保管時は高温多湿を避け、ほこりなどが進入しないよう保管して下さい。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 持ち運ぶするときは、添付のソフトケースなどしまい、衝撃をあたえたり、雨に濡らしたりしないよう注意してください。
- レンズは傷つき易いので硬い物でおしたり、こすったり、たたいたりしないでください。また、強い圧力をレンズおよび周囲に与えないで下さい。破損の恐れがあります。
- やむを得ず宅配便などで郵送する際は、オプションの専用ハードケースを利用するか、購入時のダンボールとクッションをお使いすることをおすすめします。
- Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Me、Windows 2000は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することはかたくお断りいたします。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更するばあいがあります。



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

はじめに

製品の特徴

当製品はXGA シングルチップ 0.7" DLP™ プロジェクタです。
以下の優れた機能が搭載されています:

- ◆ リアル XGA, (1024 x 768 ピクセル)
- ◆ シングルチップ DLP™ 技術
- ◆ NTSC/NTSC4.43/PAL/SECAM および HDTV 対応
(480i/p576i/p、720p、1080i)
- ◆ フル機能のリモコン(レーザーポインタ 付き)
- ◆ ユーザーフレンドリーな 多言語オンスクリーン・ディスプレイメ
ニュー
- ◆ 高度な デジタルキーストーン 補正および高品質フル画面画像
リスケールリング
- ◆ ユーザーフレンドリーなコントロールパネル
- ◆ SXGA圧縮およびVGA, SVGA リサイジング
- ◆ Apple Machintosh交換

はじめに

パッケージ内容

本機には、以下のアイテムが含まれています。すべてのアイテムが揃っているかご確認ください。不足品がある場合には、ただちにお買い求めの販売店へご連絡ください。



レンズキャップ付き
プロジェクタ



1.8m 電源コード



1.8m VGAケーブル



2m コンポジット
ビデオケーブル



USBケーブル1.8m



VGA対コンポーネント/
HDTV アダプタ



S ビデオケーブル1.8m



リモコン(レーザー
ポインタ 付き)



電池x2



携帯用ケース



ユーザーズガイド



クイックスタートカード

はじめに

製品の概要

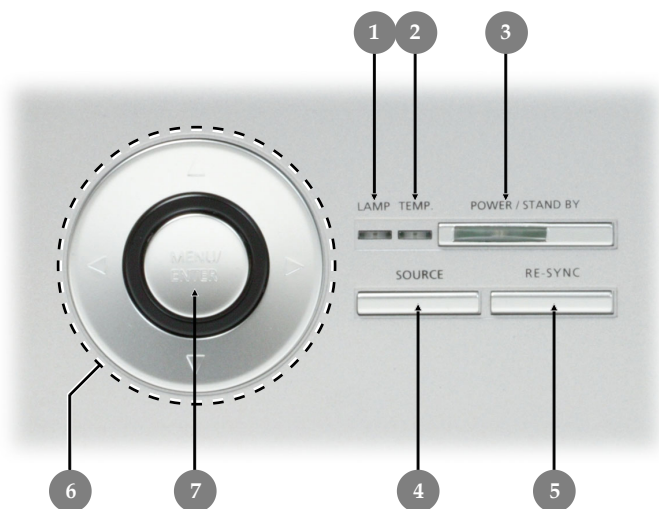
メインユニット



1. フォーカスリング
2. ズームリング
3. レンズ
4. エレベーターボタン
5. エレベーターフット
6. 赤外線レシーバ
7. 接続ポート
8. 電源ソケット
9. コントロールパネル

はじめに

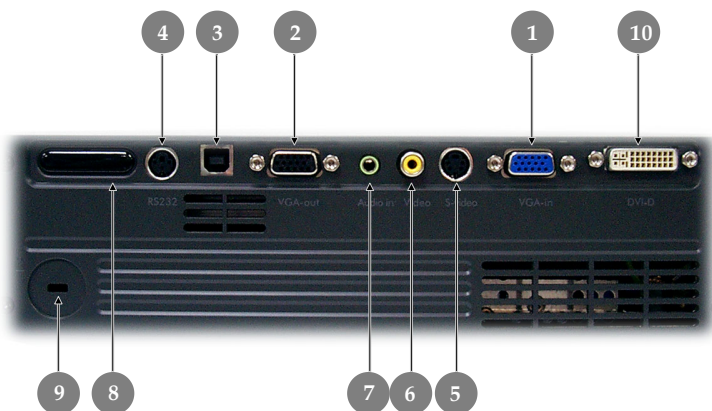
コントロールパネル



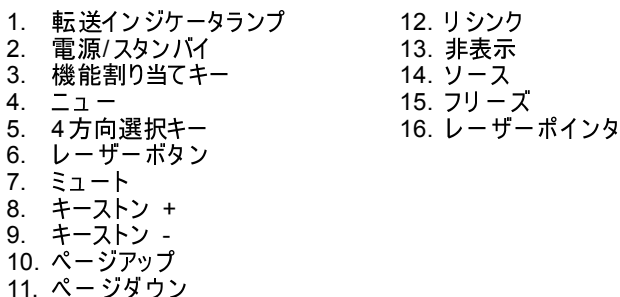
1. ランプ警告LED
2. 温度警告LED
3. 電源/スタンバイおよびインジケータLED（電源LED）
4. ソース
5. リシンク
6. 4方向選択キー
7. メニュー位置 /Enter

はじめに

接続ポート

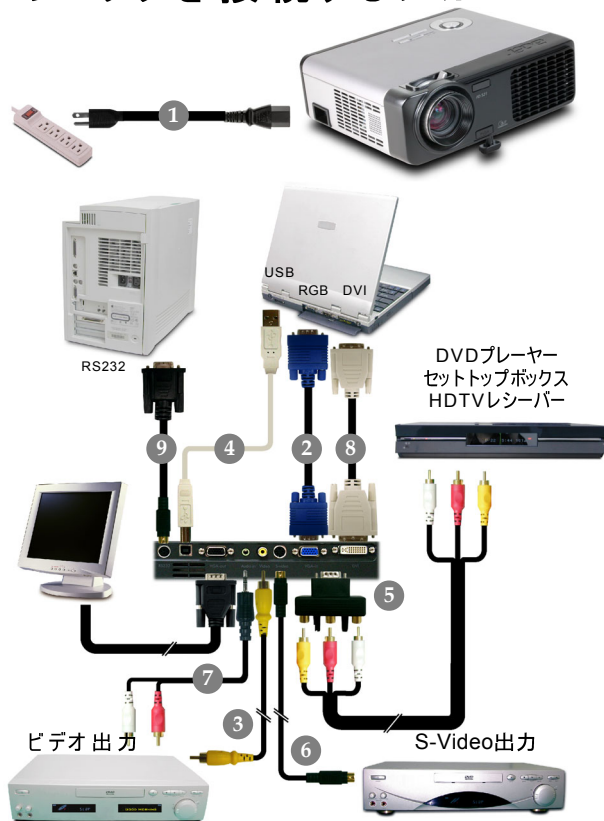


1. PCアナログ信号/HDTV/コンポーネントビデオ入力コネクタ
2. モニタ出力コネクタ
3. USBコネクタ
4. RS232コネクタ
5. Sビデオ入力コネクタ
6. コンポジットビデオ入力コネクタ
7. オーディオ入力コネクタ
8. 赤外線レシーバ
9. Kensington™ ロックポート
10. DVI-D入力コネクタ (HDCP機能を搭載したデジタル信号用)
(オプション)



インストール

プロジェクタを接続するには



1. 電源コード
2. VGAケーブル
3. コンポジットビデオケーブル
4. USBケーブル
5. VGA対コンポーネント/HDTVアダプタ
6. S-Videoケーブル
7. オーディオケーブルジャック/RCA (オプションのアクセサリ)
8. DVI対DVIケーブル(オプションのアクセサリ)
9. RS232ケーブル(オプションのアクセサリ)

❖ ご使用のコンピュータでプロジェクタを適切に操作できるよう、グラフィックカードのディスプレイモードを1024 X 768 同等もしくはそれ以下に調整してください。グラフィックカードのリフレッシュレートがプロジェクタに対応しているか確認してください。39 ページの“互換モード”の項をご参照ください。

インストール

プロジェクタの電源オン/オフ

プロジェクタの電源をオンにする

1. レンズキャップを取り外してください。
 2. 電源コードと信号ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。電源LEDは緑で点滅します。
 3. コントロールパネルの“電源/スタンバイ”ボタンを押して、ランプの電源を入れます。❶ 電源LEDは緑で点灯します。
初めてプロジェクタを使用する場合、起動画面が表示された後、クイックメニューから優先言語を選択することができます。
 4. ご利用のソース(コンピュータ、ノートブック、ビデオプレーヤー等…)の電源を入れてください。プロジェクタがソースを自動検出します。
- ❖ スクリーンに“検索中”と表示された場合、信号ケーブルが確実に接続されているか確認してください。
- ❖ 複数のソースが同時に接続されている場合は、リモートコントロールまたはコントロールパネルの“ソース”ボタンで切り換えを行ってください。



❖ ソースの電源を入れる前に、プロジェクタの電源を入れてください。



プロジェクタの電源をオフにする

1. 「電源/スタンバイ」ボタンを押してプロジェクタランプをオンにすると、「電源ボタンをもう一度押して遮断プロセスを完了してください。警告: プロジェクタのファンが回っている間はプラグを絶対に抜かないでください。」ボタンをもう一度押すと確認されます。幼い場合、5秒後にメッセージは消えます。
▶ 代わりにキーが押されている場合、プロジェクタは「ビデオミュート」に入り、画像は表示されないことにご注意ください。「ビデオミュート」モードを終了するには、「電源/スタンバイ」ボタンをもう一度押してください。
2. 冷却ファンが冷却ファイルで約**60**秒間作動を続け、電源LEDが緑になります。LEDが点滅を開始したら、プロジェクタはスタンバイモードに入っています。
プロジェクタを再びオンにしたい場合、プロジェクタが冷却サイクルを完了しスタンバイモードに入るまで待たなければなりません。スタンバイモードに戻ったら、「電源/スタンバイ」ボタンを押してプロジェクタを再起動してください。
3. 電源コンセントとプロジェクタから電源コードを抜きます。

警告インジケータ

- ❖ 「ランプ」インジケータが赤い色で点灯すると、プロジェクタは自動的に遮断します。その場合は、お買い求めになった販売店またはサービスセンターへご連絡ください。
- ❖ 「温度」インジケータが約**20**秒間赤で点灯すると、プロジェクタが過熱していることを示します。オンスクリーン・ディスプレイに「プロジェクタが過熱しています。」というメッセージが表示されます。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。通常の状態では、プロジェクタは冷却サイクルを完了してから、再度電源入れて使用することができますが、もし問題が解決しない場合は、お買い求めになった販売店またはサービスセンターへご連絡ください。
- ❖ 「TEMP (温度)」インジケータが約**10**秒間赤で点滅すると、「ファンエラー」というメッセージが表示されます。ランプはまもなく自動的に消えます。」というメッセージが表示されます。その場合は、お買い求めになった販売店またはサービスセンターへご連絡ください。

投影された映像の調整

プロジェクタの高さを調整する

プロジェクタには、高さを調整するためのエレベーターフットが付いています。

プロジェクタを高くする:

1. エレベーターボタンを押してください ❶。
2. プロジェクタを好みの表示角度まで上げ ❷，ボタンを放してエレベーターフットを固定してください。
3. ❸ を使って投影角度を調整してください。

プロジェクタを低くする:

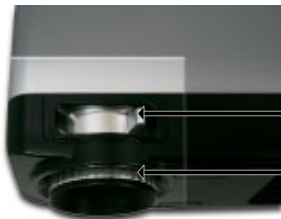
1. エレベーターボタンを押してください。
2. プロジェクタを下げ、ボタンを放してエレベーターフットを固定してください。
3. ❸ を使って投影角度を調整してください。



インストール

プロジェクタのズーム/フォーカスを調整する

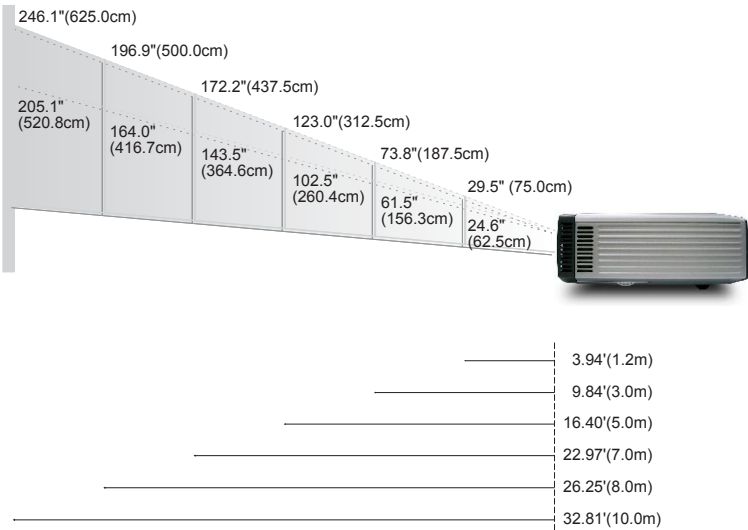
ズームイン/アウトはズームリングで調整できます。画像のフォーカスを合わせるには、画像が鮮明になるまでフォーカスリングを回転させてください。プロジェクタは1.2m ～10.0mの距離でフォーカスが合います。



ズームリング

フォーカスリング

画面サイズと投射距離の目安



スクリーン 対 角線	Max.	29.5"(75.0cm)	73.8"(187.5cm)	123.0"(312.5cm)	172.2"(437.5cm)	196.9"(500.0cm)	246.1"(625.0cm)
	Min.	24.6"(62.5cm)	61.5"(156.3cm)	102.5"(260.4cm)	143.5"(364.6cm)	164.0"(416.7cm)	205.1"(520.8cm)
画面サイズ	Max.(WxH)	23.60" x 17.70" (60.0 x 45.0cm)	59.04" x 44.28" (150.0 x 112.5cm)	98.40" x 73.80" (250.0 x 187.5cm)	137.76" x 103.32" (350.0 x 262.5cm)	157.52" x 118.14" (400.0 x 300.0cm)	196.88" x 147.66" (500.0 x 375.0cm)
	Min.(WxH)	19.68" x 14.76" (50.0 x 37.5cm)	49.20" x 36.90" (125.0 x 93.8cm)	82.00" x 61.50" (208.3 x 156.2cm)	114.80" x 86.10" (291.7 x 218.8cm)	131.20" x 98.40" (333.4 x 250.0cm)	164.08" x 123.06" (416.6 x 312.5cm)
投射距離		3.94'(1.2m)	9.84'(3.0m)	16.40'(5.0m)	22.97'(7.0m)	26.25'(8.0m)	32.81'(10.0m)

❖ この表は参考用です。

ユーザーコントロール

コントロールパネル& リモートコントロール

機能を調整する方法には: リモートコントロールまたはコントロールパネルの2通りがあります。

コントロールパネル リモートコントロール



コントロールパネルを使うには

電源 / スタンバイ

- ▶ 17～18ページの“プロジェクタの電源オン/オフ”の項をご参照ください。

ソース

- ▶ “Source(ソース)”ボタンを押すと順番に入力ソースを検出します。(RGB、コンポーネント-p、コンポーネント-i、S-Video、コンボジットビデオ、HDTV)。

メニュー / エンター

- ▶ “メニュー/エンター”ボタンを押すとオンスクリーン・ディスプレイ(OSD)メニューを開きます。OSDを終了するには、もう一度 “メニュー”ボタンを押してください。
- ▶ アイテムの選択内容を確認します。

4 方向選択キー

- ▶ ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンを押して、アイテムの選択や選択内容の調整します。

ユーザーコントロール

リモートコントロールを使うには

電源

- ▶ 17～18ページの“プロジェクトの電源オン/オフ”の項をご参照ください。

機能割り当てキ

- ▶ オンスクリーンディスプレイメニューの「ディスプレイモード」サブメニューを表示して、PC、ムービー、sRGB、ユーザーを直接選択します。

メニュー

- ▶ “メニュー”ボタンを押すとオンスクリーン・ディスプレイ(OSD)メニューを開きます。OSDを終了するには、もう一度“メニュー”ボタンを押してください。

4 方向選択キー

- ▶     ボタンを押して、アイテムの選択や選択内容の調整します。

レーザーボタン

- ▶ 表示画面にリモコンを向け、このボタンを押し続けるとレーザーポインタがアクティブになります。

ミュート

- ▶ 一時的にオーディオをオフにします。

キーストン + / -

- ▶ キーストンのボタンでプロジェクトの傾きによって起こるゆがみを調整します。(±16°)

ページアップ(コンピュータモードのみ)

- ▶ ページ送りにはこのボタンを使用します。この機能は、プロジェクトがUSBケーブルでコンピュータに接続されている場合にのみ有効です。

ページダウン(コンピュータモードのみ)

- ▶ ページ戻しにはこのボタンを使用します。この機能は、プロジェクトがUSBケーブルでコンピュータに接続されている場合にのみ有効です。

リシンク

- ▶ 自動的にプロジェクトの入力ソースを選びます。

非表示

- ▶ ビデオを一時的にビデオをオフにします。「非表示」を押すと画像が非表示になり、もう一度押すと画像のディスプレイが再び表示されます。

ソース

- ▶ “Source(ソース)”ボタンを押すと順番に入力ソースを検出します。(RGB、コンポーネント-p、コンポーネント-i、S-Video、コンポジットビデオ、HDTV)。

フリーズ

- ▶ “フリーズ”ボタンを押して、映像を静止します。



ユーザーコントロール

オンスクリーン・ディスプレイメニュー

プロジェクトには、多言語オンスクリーン・ディスプレイ(OSD)メニューが装備されており、映像調整や様々な設定が可能です。

操作方法

1. OSDメニューを開くには、リモコンの「メニュー」を押すか、コントロールパネルの「メニュー/Enter」を押します。
2. OSDが表示されたら、◀ ▶ キーを押してメインの項目を選択します。希望するメインメニューアイテムを選択した後、▼を押してサブメニューに入って機能設定を行います。
3. 指定項目(サブメニュー)を選択する際は ▲ ▼ ボタンを押して選択し、◀ ▶ ボタンでアイテムの選択もしくは、設定を調整します。
4. リモコンの「メニュー」を押すか、コントロールパネルの「メニュー/Enter」を押すと、画面がメインメニューに戻ります。
5. OSDを終了するには、リモコンの「メニュー」を押すか、コントロールパネルの「メニュー/Enter」を押します。



ユーザーコントロール



個人 (コンピュータ/ビデオ モード)

OSD インターフェイスによってユーザーの詳細設定を編集してください。編集されたユーザー情報は、プロジェクタの電源がオンになっているとき、画面の左下に表示されます。

- 1.> ▲ ▼ を使用して「Line1」(ライン1)機能を選択し、「Enter」ボタンを押します。第1行目に文字を入力できます。
- 2.> ▲ ▼ ◀ ▶ を使用して文字を選択し、「Enter」を押して選択を確認します。
- 3.> ▲ ▼ を使用して「Line2」(ライン2)機能を選択し、「Enter」ボタンを押します。第2行目に文字を入力できます。
- 4.> ステップ3と同じ手順。>
- 5.> ▲ ▼ を使用して「Save & Exit」(保存と終了)機能を選択し、「Enter」ボタンを押します。
- 6.> プロジェクタを再起動した後、起動画面に新しい言葉が表示されます。

注:

- ▶ 各行には、35文字しか入力できません。
- ▶ 「Del」を使用すると、前の文字が削除されます。
- ▶ 「Space」を使用すると、スペースが追加されます。

ユーザーコントロール



言語 (コンピュータ/ビデオ モード)

言語

OSDは多言語で表示することができます。▲ または ▼ ボタンで好みの言語を選択してください。

リモコンの「メニュー」を押すかコントロールパネルの「メニュー/Enter」を押して、選択を終了します。

ユーザーコントロール



カラー (コンピュータ/ビデオ モード)

画面モード

多くの工場出荷時設定がさまざまな画像のタイプに最適化されています。

- ▶ PC : PC アプリケーションなどの映像
- ▶ ムービー : DVDなどの映画素材の映像
- ▶ sRGB : 標準RGB カラー。(コンピュータモードのみ)
- ▶ ユーザー : ユーザーの設定を記憶します。

明るさ

イメージの明るさを調整します。

- ▶ ◀ を押すとイメージが暗くなります。
- ▶ ▶ を押すとイメージが明るくなります。

コントラスト

コントラストは、画像の明るい部分と暗い部分の差異を調整します。

コントラストを調整すると、画像の白黒要素が変化します。

- ▶ ◀ を押すとコントラスト値が減少します。
- ▶ ▶ を押すとコントラスト値が増加します。

色温度

色温度を調整します。“温度”設定が高くなると画面は寒色が強くなり、“温度”が低くなると暖色が強くなります。

赤

赤色を調整します。

ユーザーコントロール



カラー (コンピュータ/ビデオ モード)

緑

緑色を調整します。

青

青色を調整します。

白セグメント

白セグメントコントロールを使用して、DMPチップの白レベルを設定します。0 は最小セグメントを表し、10は最大セグメントを表します。画像を濃くしたい場合は、最大設定の方に調整してください。滑らかでより自然な画像を表示するには、最小設定の方に調整します。

ガンマ

暗い画面の表示に影響を及ぼします。ガンマ値を大きくすると、暗い画面が明るくなります。

彩度

カラー設定では、ビデオ映像を白黒から彩度のあるフルカラーへ調整します。

- ▶ ◀ を押すとビデオ映像の彩度が減少します。
- ▶ ▶ を押すとビデオ映像の彩度が増加します。

色合い

色合いは赤と緑のカラーバランスを調整します。

- ▶ ◀ を押すとイメージの緑色の要素が増加します。
- ▶ ▶ を押すとイメージの赤色の要素が増加します。



※「彩度」と「色合い」機能は、コンピュータモードまたはDVIモードではサポートされていません。

ユーザーコントロール



イメージ (コンピュータモード)

キーストン

キーストンのボタンでプロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します。(±16°)

アスペクト比

この機能は、お好みのアスペクト比に合わせてお選びいただけます。

- ▶ 4:3：入力ソースはプロジェクション画面にフィットするように拡大縮小されます。
- ▶ 16:9：入力ソースは、画面の幅にフィットするように拡大縮小されます。
- ▶ 自動：画像の幅対高さの比をオリジナルの値に保ち、ネイティブの水平または垂直画素に適合するように画像を最大限にします。

水平位置

- ▶ ◀ を押して、イメージを左へ移動させます。
- ▶ ▶ を押して、イメージを右へ移動させます。

垂直位置

- ▶ ◀ を押して、イメージを下へ移動させます。
- ▶ ▶ を押して、イメージを上へ移動させます。

周波数

“周波数”は、コンピュータグラフィックカードの周波数に合わせて、ディスプレイ周波数を変更するためのものです。縦のちらつき線がある場合には、この機能を使って調整を行ってください。

トラッキング

ディスプレイの信号タイミングをグラフィックカードの信号タイミングに同期化する場合、“トラッキング”を選択します。画像が不安定またはちらつき場合にも、トラッキング機能を使って修正します。

ユーザーコントロール



イメージ (ビデオモード)

キーストン

キーストンのボタンでプロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します。(±16°)

アスペクト比

この機能は、お好みのアスペクト比に合わせてお選びいただけます。

- ▶ 4:3 : 入力ソースはプロジェクション画面にフィットするように拡大縮小されます。
- ▶ 16:9 : 入力ソースは、画面の幅にフィットするように拡大縮小されます。
- ▶ 自動 : 画像の幅対高さの比をオリジナルの値に保ち、ネイティブの水平または垂直画素に適合するように画像を最大限にします。

鮮明度

映像の鮮明度を調整します。

- ▶ ◀ を押すと鮮明度が下がります。
- ▶ ▶ を押すと鮮明度が上がります。



❖「鮮明度」機能は、DVIモードではサポートされていません。

ユーザーコントロール



オーディオ (コンピュータ/ビデオ モード)

音量

- ▶ ◀ を押して、音量を下げます。
- ▶ ▶ を押して、音量を上げます。

ミュート

- ▶ 「オン」を選択すると音声が入ります。
- ▶ 「オフ」を選択すると音声が入ります。

ユーザーコントロール



管理 (コンピュータ/ビデオ モード)

ECOモード

「オン」を選択するとプロジェクタランプが薄暗くなって消費電力を抑え、ランプの寿命を伸ばしノイズを軽減します。「オフ」を選択すると、標準モードに戻ります。

メニュー位置

メニューの位置をディスプレイの画面上で選択します。

投射方式

▶ 前面 - デスクトップ

工場出荷時の初期設定。

▶ 前面 - 天井

この機能を選択すると、プロジェクタは映像の上下を逆にすることができるため、プロジェクタを天井に取り付けることができます。

▶ 裏面 - デスクトップ

この機能を選択すると、プロジェクタは反転した映像に表示することができるため、半透明スクリーンを使用し、リア投影できます。

▶ 裏面 - 天井

この機能を選択すると、プロジェクタは反転した映像に表示し、更に上下を逆にすることができます。天井に取り付けたプロジェクタで半透明スクリーンを使用し、リア投影できます。

ユーザーコントロール



管理 (コンピュータ/ビデオ モード)

ソースロック

ソースロックがオフになっているとき、現在の信号入力が失われると、プロジェクトは他の信号を検索します。ソースロックがオンになると、現在のソースチャンネルが「ロック」されます。その後で、リモコンの「ソース」ボタンを押し、次のチャンネルを選択してください。

ランプ使用時間

ランプの経過時間を表示します(時間表示)。



ランプリセット

「Yes」(はい)を選択した後に (▶) ボタンを押すと、ランプの時間カウンタは0時間に代わります。

ランプ警告

“ランプの交換”時における警告メッセージの表示/非表示を切り換えるには、この機能を選択します。ランプの寿命が切れる 30 時間前に、メッセージが表示されます。

OSD透過度

OSDの透過度を調整します。



リセット

「Yes」(はい)を選択した後に (▶) ボタンを押すと、すべてのメニューのディスプレイパラメータは工場出荷時の設定に戻ります。

トラブルシューティング

プロジェクタにトラブルが発生した場合は、以下をご参照ください。それでも、問題が解決しない場合は、お買い求めになった販売店、またはサービスセンターへお問い合わせください。

問題: 画面に何も表示されない。

- ▶ すべてのケーブルと電源コードが、“インストール”の項で説明されているように正しくしっかりと接続されているか確認してください。
- ▶ コネクタのピンが曲がっている、または壊れていないか確認してください。
- ▶ プロジェクションランプがしっかりと装着されているか確認してください。詳しくは、“ランプの交換”のページ項をご覧ください。
- ▶ レンズキャップが取り外されているか、プロジェクタの電源がオンになっているか確認してください。
- ▶ 「非表示」機能が有効になっていないことを確認してください。

問題: イメージが一部しか表示されない、スクロールしてしまう、正しく表示されないなど。

- ▶ リモコンの「Re-Sync」(再同期)ボタンを押します。
- ▶ PCをご使用の場合は:

コンピュータの解像度が 1024 × 768 以上の場合は、以下の要領で解像度を修正してください。

Windows 3.xの場合:

1. Windows プログラムマネージャで、メイングループの“Windows セットアップ”をクリックします。
2. ディスプレイの解像度設定が 1024 × 768 相当またはそれ以下であるか確認してください。

Windows 95, 98, 2000, XP の場合:

1. “マイコンピュータ”アイコンをクリックし、“コントロールパネル”フォルダを開いて、“画面”アイコンをダブルクリックしてください。
2. “設定”タブを選択してください。
3. “デスクトップエリア”で解像度設定が確認できます。解像度設定が 1024 × 768 相当またはそれ以下であるか確認してください。

プロジェクタがまだイメージ全体を投射できない場合は、ご使用になっているモニターの表示を変更する必要があります。以下の手順をご参照ください。

4. 前述の 1～2 に従ってください。次に、“詳細”ボタンをクリックしてください。

付録

5. 詳細タブを押す。“モニター”タブで“変更”ボタンを選択してください。
6. 製造元のボックスで“標準モニターの種類”を選択してください。次に“モデル”のボックスで必要な解像度モードを選択してください。
7. モニターディスプレイモードを 1024 × 768 同等もしくはそれ以下に設定してください。
 - ▶ ノートブックPCをご使用の場合:
 1. まず上記のコンピュータ解像度設定の手順通りに操作してください。
 2. ノートブックPCのディスプレイを外部出力に切り換えて下さい。詳しくはご使用のノートブックPCの取り扱い説明書で確認して下さい。
 - ▶ 解像度の変更が困難な場合や、モニターがフリーズしてしまう場合は、すべての機器とプロジェクションディスプレイを再起動させてください。その際は、プロジェクターの電源を先に入れてからパソコンを再起動して下さい。

問題: ノートブックまたはApple PowerBookコンピュータの画面が写らない。

- ▶ ノートブックPCをご使用の場合:

ノートブックPCの中には、外部映像出力を使用した場合、PC本体の映像表示が無効になってしまうものがあります。PC本体の映像表示する方法は各機種によって異なります。詳細は、ご使用になっているコンピュータの添付資料をご覧ください。
- ▶ Apple PowerBookをご使用の場合:

コントロールパネルで、PowerBookディスプレイを開き、ビデオモニター“オン”を選択してください。

問題: 画像が不安定、またはちらつく。

- ▶ “トラッキング”を使って修正してください。28ページ。
- ▶ コンピュータでモニターカラー設定を変更してください。

問題: イメージに縦のちらつき線がある

- ▶ “周波数”を調整してください。28ページ。
- ▶ グラフィックカードのディスプレイモードを設定しなおし、互換性を改善してください。33ページ。

問題: 映像のフォーカスが合っていない。

- ▶ プロジェクタレンズのフォーカシングを調整してください。20ページ。
- ▶ プロジェクション画面がプロジェクタから1.2m～10.0mの距離にあるか確認してください。

付録

問題: 16:9 再生時、全画面表示しない。

プロジェクタ本体は自動的に16:9を検出し、縦横比を調整します。全画面表示しない場合は、下記を参考に縦横比を調整する必要があります。

- ▶ 16:9 DVDをご覧になっている場合は、ご使用のDVDプレーヤー上で4:3アスペクト比を選択してください。
- ▶ ご使用のDVDプレーヤー上で4:3アスペクト比が選択できない場合は、プロジェクタのオンクリーン・ディスプレイ (OSD) で縦横比の4:3を選択してください。

問題: イメージが逆になっている。

- ▶ OSDから“プロジェクション設定”を選択し、投影方式を調整します。31ページ。

問題: ランプが焼き切れる、または小さな音がする。

- ▶ ランプの寿命が近づくと、焼き切れたり破裂音をさせたりすることがあります。このような場合、ランプモジュールを交換するまでプロジェクタを使用できません。ランプを交換するには“ランプの交換”の手順に従ってください。37ページ。

問題: LED 照明メッセージ。

メッセージ	電源LED 緑	オレンジ	ランプLED
スタンバイ状態 (入力電源コード)	点滅	○	○
ランプ照明		○	○
電源オン		○	○
電源オフ(冷却)		○	○
エラー(ランプエラー)	○	○	
エラー(熱エラー)			○
エラー(ファンロックエラー)	○	点滅	○
エラー(過熱)	○		○
エラー(ランプ故障)	○	○	

 => ライトオン

○ => ライトオフ

付録

問題：メッセージ喚起。

- ▶ ランプの寿命が切れかかると、「ランプの寿命が近づいています。ランプを交換してください！」というメッセージが約10秒間表示されます。
- ▶ システム温度が過熱すると、“プロジェクタが過熱しています。ランプはまもなく自動的に消えます。”が表示されます。
- ▶ ファンが故障すると、“ファンのエラーです。ランプはまもなく自動的に消えます。”が表示されます。

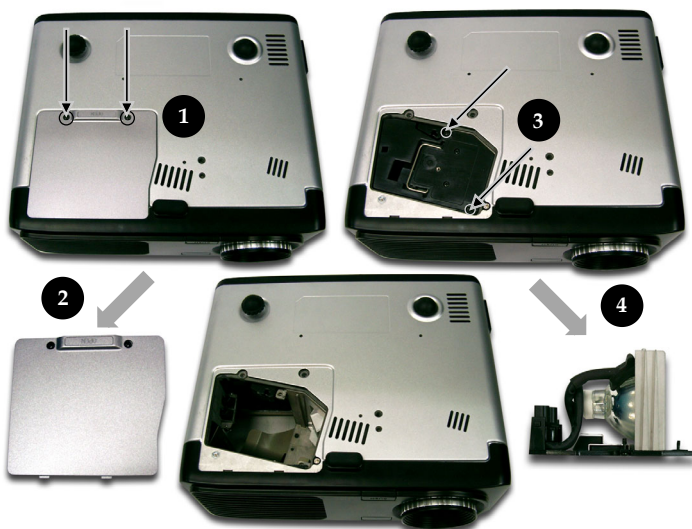
ランプの交換

プロジェクタはランプの寿命を自動検出し、“ランプの寿命が近づいています。ランプを交換してください！”このメッセージが表示されたら、お近くの販売店やサービスセンターに連絡し、すぐにランプを交換してください。

少なくともランプを交換する30分前に、プロジェクタの余熱が冷めていることを確認してください。



警告: ランプ部は熱くなっています！熱が冷めてからランプを交換してください！



ランプ交換の手順:

1. 電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにしてください。
2. 少なくとも30分は放置してプロジェクタの余熱を冷ましてください。
3. 電源コードを取り外してください。
4. ライバードライバーを使って、カバーからネジを外してください。①
5. カバーを押し上げて取り外します。②
6. ランプモジュールからネジ 2 本を外してください。③
7. ランプモジュールを引き出します。④

ランプモジュールを取り付ける際は、以上のステップを逆から行ってください。



警告: 人体に害を及ぼす危険がありますので、ランプモジュールを落としたり、ランプの電球に触れたりしないでください。電球が落ちると、破片が飛び、ケガをする恐れがあります。

付録

仕様

下で指定された仕様は、詳細予告なしに変更することがあります。最終仕様に関しては、Acer が公表したマーケティング仕様。

デバイス	- シングルチップDLP™
ランプ	- ユーザーによる交換可能な200Wのランプ
解像度	- 1024 (H) X 768 (V)
ディスプレイカラー	- 16.7M 色
明るさ	- 2000 ANSIルーメン
コントラスト比	- 2000:1 (フルオン/フルオフ)
均一性	- 85%
ノイズレベル	- 31 dB(A) (標準モード)/27 dB(A) (ECOモード)
投射レンズ	- F/2.4~2.7 f=28.0~35.6mm、1.2 倍手動ズーム
投射画面サイズ	- 24.6インチ~246.1インチ(0.63~6.25m)
投射距離	- 3.9~32.8 ft (1.2m~10.0m)
ビデオ互換性	- NTSC/NTSC 4.43/PAL/SECAM および HDTV 対応 - コンポジットビデオ & S-Video 対応
水平周波数	- 31.5kHz~100kHz 水平スキャン
垂直周波数	- 56Hz~85Hz 垂直スキャン
使用電源	- ユニバーサル AC 入力100~240V ; 入力周波数 50/60Hz
入出力端子	- 電源: AC 電源入力ソケット - VGA入力 ■ HDCP付きデジタル信号用DVI-Dコネクタ x1 (オプション) ■ VGA、コンポーネント、HDTV信号用15ピンD-sub x1 - VGA出力: VGA出力用15ピンVGA出力 x1 - ビデオ入力: ■ コンポジットビデオ RCA 入力x 1 ■ S-Video入力x 1 - USB: コンピュータのリモコン用USBコネクタ x1 - RS232: コンピュータのリモコン用RS232コネクタ x1 - オーディオ入力: オーディオ入力用ジャックx 1
重量	- 5.3 lbs(2.41 kgs)
外形寸法(W x H x D)	- 10.9x4.2x9.3 インチ / 277x107x237 mm
動作環境	- 動作温度: 5°C~35°C/41°F~95°F 湿度: 80% (最大) - 保管温度: -20°C~60°C/-4°F~140°F 湿度: 80% (最大)
安全規格	- FCC Class B, CE Class B, VCCI-II, UL, cUL, TÜV-GS, C-tick, PSB, PSE, CB Report, CCC

付録

互換モード

モード	解像度	(アナログ)		(デジタル)	
		垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)
VESA VGA	640 x 350	70	31.5	70	31.5
VESA VGA	640 x 350	85	37.9	85	37.9
VESA VGA	640 x 400	85	37.9	--	--
VESA VGA	640 x 480	60	31.5	60	31.5
VESA VGA	640 x 480	72	37.9	72	37.9
VESA VGA	640 x 480	75	37.5	75	37.5
VESA VGA	640 x 480	85	43.3	85	43.3
VESA VGA	720 x 400	70	31.5	70	31.5
VESA VGA	720 x 400	85	37.9	85	37.9
SVGA	800 x 600	56	35.2	56	35.2
SVGA	800 x 600	60	37.9	60	37.9
SVGA	800 x 600	72	48.1	72	48.1
SVGA	800 x 600	75	46.9	75	46.9
SVGA	800 x 600	85	53.7	85	53.7
VESA XGA	1024 x 768	60	48.4	60	48.4
VESA XGA	1024 x 768	70	56.5	70	56.5
VESA XGA	1024 x 768	75	60.0	75	60.0
VESA XGA	1024 x 768	85	68.7	85	68.7
* VESA SXGA	1152 x 864	70	63.8	-	-
* VESA SXGA	1152 x 864	75	67.5	-	-
* VESA SXGA	1152 x 864	85	77.1	-	-
* VESA SXGA	1280 x 1024	60	63.98	60	63.98
* VESA SXGA	1280 x 1024	75	79.98	-	-
* VESA SXGA+	1400 x 1050	60	63.98	-	-
MAC LC 13"	640 x 480	66.66	34.98	-	-
MAC II 13"	640 x 480	66.68	35	-	-
MAC 16"	832 x 624	74.55	49.725	-	-
MAC 19"	1024 x 768	75	60.24	-	-
* MAC	1152 x 870	75.06	68.68	-	-
MAC G4	640 x 480	60	31.35	-	-
i Mac DV	1024 x 768	75	60	-	-
* i Mac DV	1152 x 870	75	68.49	-	-
* i Mac DV	1280 x 960	75	75	-	-



注: "*" 圧縮コンピュータ
画像

天井マウントの取り付け

1. プロジェクタの損傷を防ぐために、取り付けの際は天井マウントパッケージを使用してください。
2. サードパーティの天井マウントキットをご使用になる場合は、プロジェクタにマウントを取り付けるために使用するネジが次の仕様を満たしていることを確認してください。

- ▶ ネジのタイプ: **M2.6**
- ▶ ネジの最大長: **10mm**
- ▶ ネジの最小の長さ: **8mm**



❖ 不適当な取り付けに起因する損傷は保証の対象外であることにご注意ください。

